

## ナンシー市での支援活動

ナンシー市議会では、東日本大震災における津波等の被害状況を知り、また避難者の前向きな姿に感銘を受けたことから、2011年4月11日開催された市議会において、「被災者への復興に向けた支援に役立てるため、姉妹都市金沢市を通じて、仙台市に支援金（仙台市の復興のための寄付金）を送金すること」が決議されました。金沢市とナンシー市、仙台市は、日本とフランスで姉妹都市提携などの交流のある自治体が連携して共通の課題に取り組んでいる「日仏自治体交流会議」の参加都市であり、ナンシー市からの支援金に加えて、ナンシー市民団体からも「ナンシー・日本との連帯」というチャリティ・イベントなどで寄せられた支援金、またナンシー市で開催されたナンシー国際見本市での募金（被災者に分配する義援金）をあわせて金沢市を通じて仙台市に送ることを依頼されており、7月5日に金沢市から、仙台市長に支援金送付の報告を行うとともに、ナンシー市長のメッセージを持参しました。

ナンシー市からの支援金・義援金の内訳：

- (1) ナンシー市（支援金） 20,000ユーロ（2,315,019円）
- (2) ナンシー仏日協会・学校・一般市民など（支援金）  
15,000ユーロ（1,730,317円）
- (3) ナンシー国際見本市（義援金）  
11,000ユーロ（1,279,190円）

## ナンシー市での支援活動「日本との連帯の日」

ナンシー市では、2011年4月9日（土）に市とNPO団体が協力して113名の協力のもと東日本大震災による被災者や避難者支援のためのチャリティバザーや義援金を募集する「日本との連帯の日」が開催され、義援金 8973.71 ユーロにのぼる多くの市民の賛同を得ることができました。あたたかいご支援をいただきましたことに深く感謝いたします。

### 開催場所およびNPO団体の活動内容

マジノー広場においては、

日本人の女性の会によって、書道、折り紙の体験、ナンシー美大の学生が書いた日本の絵の販売が、また日本人留学生団体によって折り紙や書道の体験、プレスレット・お菓子の販売が、さらにはロレーヌ・チャプタークラブによってハーレーダヴィンソンのツーリングによる募金活動などが行われました。

「La Source des Arts」美術品、工芸品ギャラリーにおいては、日本人留学生団体によってお茶、お菓子や手作りのオブジェの販売が行われました。

中央市場においては、

お菓子の販売、お茶の提供、折り紙の実演とともに募金活動が実施されました。

サン・セバスティアン・ショッピングモールにおいては、

「Ken Sei Kai」剣道クラブによる剣道の体験が、また桑原協会によるストラップ、絵、ブックマーク、絵はがき、お菓子等の販売が、日仏協会によって「ヒカルの碁」という漫画をテーマとした将棋の体験が行われました。

詳細は下記のHPをご覧ください。

<http://www.nancysolidaritejapon.com/actualit%C3%A9s/>